

速 報

各関係機関の長 殿

福岡県病虫害防除所長

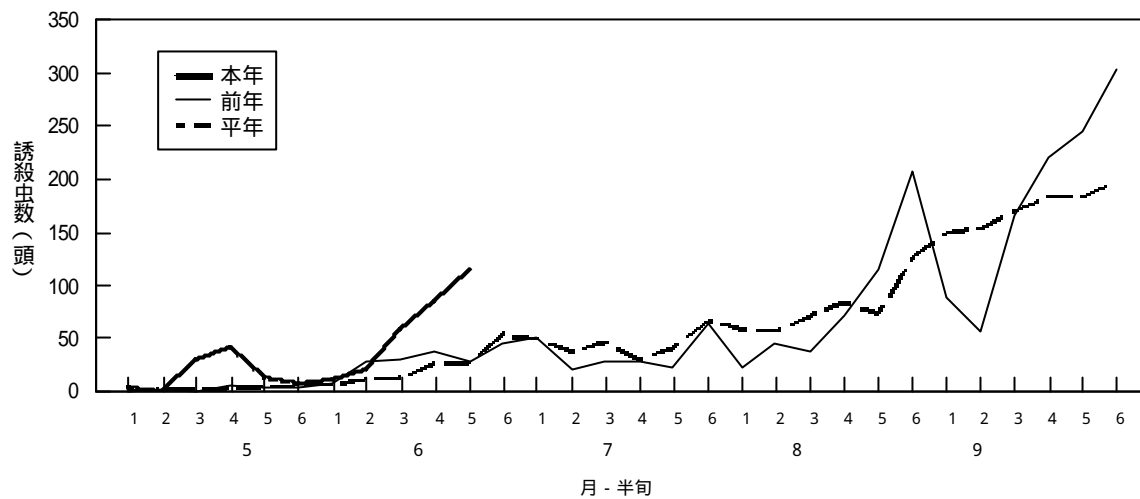
平成14年度病虫害発生予察情報について（送付）

このことについて、平成14年度病虫害発生予察速報第5号を発表したので送付します。

平成14年度病虫害発生予察速報第5号

- 1 対象作物 野菜・花き類
- 2 病虫害名 ハスモンヨトウ
- 3 発生状況
筑紫野市のフェロモントラップでは、3月から誘殺されはじめ、5月3～4半旬の誘殺虫数は73頭（平年：6.2頭、前年：6頭）と一時的に増加した。（図参照）
その後は平年並の誘殺虫数であったが、6月3半旬から増加し、6月5半旬の誘殺頭数は116頭（平年：27.2頭、前年：28頭）と急増している。
6月5半旬の野菜類調査では本虫の寄生は認められなかったが、今後、平年より早い時期から野菜・花き類に被害が発生する恐れがある。
- 4 防除上注意すべき事項
 - （1）幼虫は集団となって葉を食害し、その後周囲に分散するので、初期の食害発生に注意し、卵塊や幼虫は見つけしだい捕殺する。
ハウスでは、支柱やベンチの裏等に卵塊を産み付けることがあるので注意する。
 - （2）老齢幼虫に対しては薬剤の効果が低いので、早期発見に努め、防除効果の高い若齢幼虫期に防除を徹底する。
 - （3）ナス、トマト等の果菜類では、葉以外にも花蕾や果実を食害する場合がありますので注意する。
 - （4）ほ場周辺の雑草は増殖源になるので、丁寧に除去する。
 - （5）防除薬剤については、野菜及び花き花木の各病虫害防除基準を参照のこと。
 - （6）農薬安全使用基準を守り、危被害防止に努める。

(7) 発生予察情報や、当所のホームページに掲載しているフェロモントラップの誘殺状況に注意する。



ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺虫数の推移 (筑紫野市)